

一般社団法人 石川県鉄工機電協会との連携事業 ～ MEX 金沢 2025 (第 61 回機械工業見本市) への参加～

団体名・代表者名 ●新ゼミナール・新 広昭 (経済学部・教授)、曾我ゼミナール・曾我 千春 (経済学部・教授)
野林ゼミナール・野林晴彦 (経済学部・教授)、村上ゼミナール・村上統朗 (経済学部・教授)
中尾ゼミナール・中尾公一 (経済学部・教授)、木村ゼミナール・木村正信 (経済学部・教授)
中尾ゼミナール・中尾真和 (経済学部・教授)、神崎ゼミナール・神崎淳子 (経済学部・教授)
土屋ゼミナール・土屋仁美 (経済学部・准教授)、鈴木ゼミナール・鈴木理彦 (経済学部・准教授)
梅田ゼミナール・梅田 充 (経済学部・准教授)

はじめに

本学では、産学連携の取組みとして、本事業をはじめとした石川県鉄工機電協会との連携活動及び次項に掲載する石川県中小企業家同友会との「課題解決型協創インターンシップ事業」を実施している。

両団体との連携取組みは、本学と石川県とで2023年12月に締結した「学生の県内定着促進に関する協定」に基づいた事業として位置付けている。

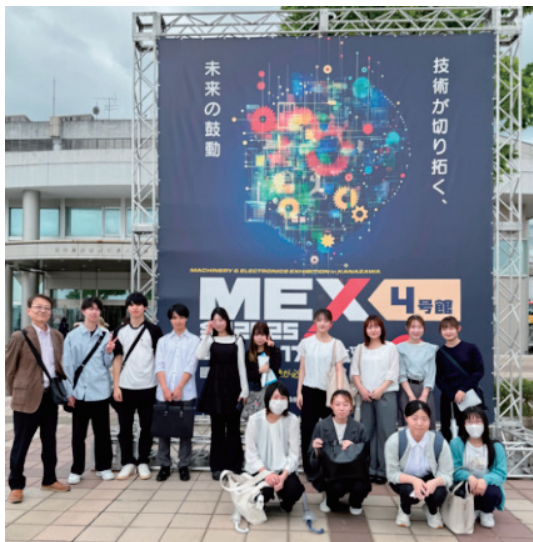
本項では、同協会との2025年度の産学連携の取組みを紹介する。

活動内容

① MEX への参加

2025年5月15日(木)～17日(土)、標記11のゼミナールの2年次、3年次の学生が、石川県産業展示館で行われたMEX 金沢2025に参加した。

MEX 金沢は、石川県の基幹産業である、ものづくり企業の振興発展を目的に石川県鉄工機電協会が主催し毎年開催しているもので、石川県をはじめ全国から200社を超える企業が出展している。参加学生は各ゼミナールの活動テーマに沿ったヒアリング調査などに取り組む一方、参加企業の3社以上を訪問し、会社説明を受けた場合に記念品が頂けるという「学生特別企画」にも参加し、地元のものづくり企業への理解を大いに深めた。



参加学生数は11ゼミ全体で186名となり、大学別の参加人数としてはトップであった(石川県鉄工機電協会からの聞き取り)。

② 意見交換会の開催

昨年度からの取組みとして、2025年5月28日に石川県鉄工機電協会と本学との意見交換会を開催した。本学からは大久保学長、新副学長、田中副学長、曾我経済学部長、櫻井人間科学部長、菊池人文学部長、野林経済学部経営学科長が出席した。同電協会からは、本学の卒業生の就職実績のある企業6社の代表取締役や人事担当部長クラスの方、さらには同電協会の専務理事をはじめとする事務局の方へ出席をいただき、本学の卒業生の様子や本学の学生に対する期待や要望等貴重なご意見をいただいた。



今後の課題、展望

MEX への参加をきっかけとして、出展企業に就職する学生も複数出てきており、協会側の人材確保ニーズと学生側の進路選択の幅を広げるというニーズとがうまくかみ合いつつあることを感じる。今後とも多くのゼミの参加を得て本事業を継続することにより、学生の地元定着が図られていくことを期待したい。